

はじめに

じゃおクラブ代表

大澤 輝之

「じゃおクラブ」は節目の第 30 回通常総会を開催することになりました。議案書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

2020 年度のじゃおクラブは、新型コロナウイルス（COVID-19）感染防止のための多くの社会的制約のもとに、各地域じゃおを中心、節度のある折り目正しい活動が行われ、全会員が無事に一年を過ごすことができたということに、心から感謝を申し上げます。

昨年度の本欄では、すでに全世界に感染が拡大していた COVID-19 について言及し、特に我々の年齢層に対する様々な影響と、世界経済や企業活動へのダメージを心配するとともに、会員各位には、当面は無理なじゃお活動は自粛されるようお願いを致しました。

正直なところ当時は、おそらく一年経った今頃は、この騒動は世界中で沈静化し、社会活動も以前のように平常に戻り、延期された「2020 東京オリンピック・パラリンピック」も無事開催されることになるものと期待しておりました。ところがその期待も空しく、ウィルスの感染は依然猛威を振るっており、更に「変異株」なるものも出現しております。オリンピック・パラリンピックも本来の形での開催は無理のような情勢です。

今はただ、驚くべき速さで開発・承認され、世界で接種が始められたワクチンが、期待される効力を存分に発揮し、この見えない敵の侵攻を一日も早く食い止めることを祈るばかりです。

今年は、1991 年 7 月に「じゃおクラブ」が設立されてから、30 年を迎える記念すべき年です。創立 20 周年の当時に行われた諸行事や記念誌の発行については、このご時世でもあり、会員各位へのアンケートの結果も踏まえ、大幅に簡素化させていただくことにしました。ただ、後世に残すべき記録やデータは、何らかの形で残さなくてはならないと考えております。

2020 年度の活動については、期初の活動計画で様々なテーマを考えていたにも関わらず、コロナ騒動が主な要因で、その多くが変更を余儀なくされました。農園や一部の野外活動については従来通りの成果を上げることができましたが、多人数が室内に集まるような活動は多くが中止せざるを得ませんでした。その中で、いわゆるオンライン形式による会合が、本部運営委員会やじゃおサロン、一部のサークルで実施され、相応の実績を積むことができました。コロナ禍への対応策としては大変有効な手段であることは確認されましたが、人と人が触れ合うことによる機微に欠けることや、全会員がオンライン環境下になくことによる問題点が残されていると感じております。

2021 年の活動については、コロナ禍がいつになったら収束されるか、またこれに対する政府・行政の方針によって大きく左右されますが、活動方針の骨組みだけは本議案書で提案させていただきます。現実には、その時々の方情に依りて流動的に対応したいと考えております。

我々にとって、非常事態宣言等による様々な制約は、一日一日を無為に奪われる気がして焦りすら感じられます。マスクを外して、皆が集い、懇談できる時が一日も早く訪れることを願って、ご挨拶とさせていただきます。

以上

じゃおクラブの基本方針

魅力的な地域交流と連帯の形成

血縁でも社縁でもなく、自発的で共感しうる“交流の場”を地域社会に形成するとともに、高齢社会のなかで互いに心から支えあえるよう、“連帯の輪”を広げることをめざします。

地域社会づくりへの参画

産業社会優先のためにこれまで疎遠だった地域社会を、男性の視点から見つめなおすと共に、“より豊かな市民社会”を築くことに、男女共同して参画することをめざします。

- 中高年男性の団体です。
- 名刺交換はいたしません。
- 肩書き、前職など関係ありません。

第1号議案

2020年度活動報告

I. 組織運営

1. 総会

コロナ禍によりオルタ館での開催を断念して、第29回通常総会は各議案についての議決を郵便による議決権の行使によって行いました。例年通り、前年度の活動報告、決算報告、次年度の活動計画、予算案、会則の改定についての決裁ならびに運営委員の選出を行いました。

2. 運営委員会

今年度は、運営委員10名（湘南3、県央2、ベイサイド2、多摩・田園3）に加えて、監事の方にも出席して頂きました。

運営委員会は、5月、7月、9月、11月、1月、2月、3月に、5月はEメール形式で、その他はZoomによるオンライン形式で実施しました。主な協議事項は以下の通りです。

- 1) 創立30周年記念行事について
- 2) 1)に関連した会員へのアンケートの実施とその結果に基づく検討事項について
- 3) じゃおサロンの実施方法について
- 4) 運営委員共通文書のクラウド保管について
- 5) じゃおニュースの会員だより原稿における著作権侵害防止について

3. 事務局

事務局という形式は取らず、運営委員が本部業務を分担して実行しています。本部業務を、渉外・調整、総会、運営委員会、じゃおニュース・スケジュール表発行、じゃおサロン、会員管理、会計、ホームページ、IT化に分け、それぞれに、原則として正・副の担当者を決めています。

会員動向や運営委員会の協議内容等は毎月じゃおニュースの「事務局だより」に掲載すると共に議事録はホームページの会員ページに掲載しています。

II. 本部活動報告

1. じゃおニュースの発行

2020年度は4月の341号から352号まで計12回発行しました。記事別では「会員だより」に51件、「特別寄稿」に4件で内2件は湘南島村会員からじゃおの大先輩であった米木達男氏と堀田敏行氏を偲ぶ投稿でした。地域活動報告は湘南5件、県央4件、ベイサイド3件、多摩・田園17件の計29件の投稿がありました。

2. じゃおサロンの開催

コロナ禍でオルタ館での開催が困難になった為、オンライン開催を企画し参加希望者には事前にZoomの利用体験を実施して第一回のオンランじゃおサロンを開催しました。本年度は4回全てのじゃおサロンはオンラインでの開催でした。新たな開催方法でしたが、8月35名、9月30名、2021年1月27名、3月x名の参加がありました。各回のテーマ、講師等は次のとおりです。

開催日	じゃおサロンテーマ	講師	講師略歴
8月30日	日本の安全と私たちの安心 ～治に居て乱を忘れず～	日下部晃志氏	松下政経塾 研修局人材開発部担当部長/第25期卒塾生
9月27日	コロナとシンギュラリティ	松田卓也氏	神戸大学名誉教授 元日本天文学会会長
2021年 1月26日	平安期の陰陽師の活躍と 浄土教の興起 ー日本人の精神性のルーツを たずねてー	谷治暁雲氏	一念寺ご住職 本願寺派宗学院研究所所属
3月28日	情報はこうして ストーリー化する	森 憲一氏	フジテレビジョン ニュース総局 メディアソリューション部長 文教大学 情報学部メディア表現 学科 非常勤講師

3. ホームページの運営

会員アンケートでは、多くの会員から、じゃおクラブホームページは広報媒体としての役割を果たしているとの回答がありました。また、じゃおニュースや予定表などの情報を会員に共有する土台でもあります。この認識のもと、2019年12月に新しいホームページに切り替え、約1年間、運営を続けてきました。会員アンケートでも「見やすくなった」との評価を得ています。

企画・制作・管理・運営においては持続可能なホームページ作りを目標として、技術的な勉強会を開催する予定でしたが、コロナ禍の影響により顔を合わせての勉強会が開催できなくなりました。このため、オンライン方式を活用して、その時々課題を話し合い、ホームページサークルのメンバーが協力して問題を解決してきました。

4. じゃおEグループの運営

3月末時点でじゃおクラブ会員146名のうち130名(89.0%)がEグループ参加会員です。メールアドレスを持っている会員は殆どEグループに参加しています。

5. 健康サークル

じゃおサロンがオルタ館において開催されなかった為、健康体操は中止しました。

Ⅲ. 他団体との交流

1. おやこん

2020 年度においては「おやこん」を構成する団体からの呼びかけ、特別な会合はありませんでした。

2. 生活クラブ関連の行事

(1) ふくしまつり

金沢八景の「姫の島公園」で万華鏡、紙とんぼ、CDこま等の「手作りの子ども遊び」工作コーナーを6月7日（日）に開催予定でしたが、コロナ禍のため中止となりました。（ベイサイド担当）

(2) エッコロ共済

「子育て講座」で「手作りのこどもの遊び」の製作教室に指導講師。コロナ禍のため中止となりました。

(3) オルタ館フェスタ 11月2日（月）～7日（土）開催

- ① じゃお同好会としてグラファーズの写真作品を展示。
- ② 11月7日（土）には「手作りの子どもの遊び」の工作コーナー。コロナ禍のため中止。

IV. 会員動向

1. 会員数の推移

年度	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
入会人数	94	29	20	10	24	21	18	15	15
退会人数		5	20	29	19	10	19	18	11
年度末在籍者計	94	118	118	99	104	115	114	111	115
年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
入会人数	47	27	17	11	5	17	12	4	4
退会人数	11	15	17	17	16	18	4	16	11
年度末在籍者	151	163	163	157	146	145	153	141	134
年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
入会人数	35	25	16	10	6	19	12	4	13
退会人数	15	16	18	22	9	8	8	13	7
年度末在籍者	154	163	161	149	146	157	161	152	158
年度	2018	2019	2020						
入会人数	7	11	5						
退会人数	14	16							
年度末在籍者	151	146	138						

注：年度末の退会者は、年度末の在籍人数に含め、翌年度の退会人数としてカウントする。

2. 地域別会員数（年度末在籍者）

地域	川崎	横浜北	横浜南	湘南	県央	県外	計
1995 年度	9	30	22	32	11	0	104
1996 年度	11	28	22	29	24	0	115
1997 年度	8	27	19	32	29	0	114
1998 年度	7	28	15	33	26	2	111
1999 年度	7	29	12	37	26	4	115
地域	田園(川崎)	田園(横浜)	横浜南	湘南	県央	東京	計
2000 年度	26	29	21	43	26	6	151
2001 年度	26	29	20	52	29	7	163
地域	田園	ベイサイド	南多摩	湘南	県央	東京	計
2002 年度	53	17	11	51	29	3	163
2003 年度	50	21	9	50	24	3	157
2004 年度	46	22		50	24	4	146
2005 年度	46	21		50	24	4	145
2006 年度	45	22		53	27	6	153
2007 年度	39	21		47	27	7	141
2008 年度	36	18		45	27	8	135
2009 年度	44	17		48	32	13	154
2010 年度	45	18	15	44	36	5	163
2011 年度	38	19	18	45	36	5	161
2012 年度	26	19	21	43	36	4	149
2013 年度	22	20	22	42	36	4	146
2014 年度	21	24	23	43	44	2	157
2015 年度	20	24	29	42	44	2	161
2016 年度	17	24	27	41	42	1	152
2017 年度	16	24	27	47	43	(静岡) 1	158
地域		ベイサイド	多摩・田園	湘南	県央	その他	計
2018 年度		32	33	45	41	0	151
2019 年度		32	34	43	37	0	146
2020 年度		33	30	39	36	0	138

第2号議案

2019年度決算報告および監査報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

収入の部

単位：円

科目	予算額	実績額	摘要
前年度繰越金	815,944	815,944	
年会費	900,000	869,500	
総会費	70,000	51,000	
事業収入 (じゃおサロン)	180,000	191,000	
雑収入	4	6	利息
合計	1,965,948	1,927,450	

支出の部

単位：円

科目	予算額	実績額	摘要
事務局費	17,000	13,924	
会議費	12,000	6,750	
通信費	120,000	113,999	
広報費 (会報・じゃおニュー ス・ホームページ)	72,000	43,957	
総会費	170,000	143,200	
事業活動費	130,000	129,174	
じゃおサロン	130,000	129,174	
地域じゃお助成金	0	0	
地域じゃお活動費	450,000	430,500	
他団体交流費	10,000	0	
賃借料	128,000	128,049	
雑費	6,000	7,130	
予備費	10,000	0	
小計	1,125,000	1,016,683	
繰越金	840,948	910,767	
合計	1,965,948	1,927,450	

繰越金残高

単位：円

資産	金額	内訳
現金	215,258	
横浜銀行普通預金	627,803	
ゆうちょ銀行振替貯金	28,396	
事務室貸借保証金	39,310	
合計	910,767	

前記の通り報告します。

2020年4月1日

会計 石井 武則

前記の決算報告を監査承認します。

2020年4月2日

監事 向田 孝義

監事 早川 士

第3号議案

2021年度 活動方針および活動計画

I. 活動方針

本年度も「じゃおクラブの基本方針」に沿った活動を心がけます。

1. 2021年 活動の基本

従来通り「地域じゃお」を中心とした活動を基本とします。「地域じゃお」間の調整や、合同開催などで必要とされれば、本部も積極的に協力します。

本部及び地域じゃおの活動において、国・県から新型コロナウイルス感染症対策として何らかの宣言や指示が発令され、諸活動がこれに抵触する場合は、これらに積極的かつ柔軟に対応し、中止や延期することに躊躇しません。また、可能な場合はオンライン開催を積極的に推進します。

2. 会員数の拡大

新規会員の獲得は組織の若返りと不可分で、組織の活性化を図るためには喫緊の課題です。しかし最近はいわゆる「働き方改革」の影響もあり、そのターゲットはリタイア後やリタイア間近の方々だけでは大変難しくなっています。定年延長などによる「半現役」のシニア層も対象に、新しい目線で友人・知己への勧誘も合わせて、新規会員獲得活動を重点課題として活性化します。具体的な手段としては、ホームページの活用の他に、前期じゃお湘南で実施した、ユーチューブを利用した勧誘・PRも他の地域じゃおの参考になると考えます。

3. 本部における諸活動 「地域じゃお」間および会員間の交流の場として、平時であれば定期的（原則として隔月（5・7・9・11・1・3月））にオルタ館で「運営委員会」、「じゃおサロン」、「健康サークル」、「懇親会」を企画したいところです。

1項の事情によりオルタ館での開催が不可能な場合は、「運営委員会」はオンライン開催とします。「じゃおサロン」については講師のご都合に合わせて日程等を調整の上オンライン開催としますが、調整不能の場合は当月の開催は中止とします。「健康体操」「懇親会」も中止とします。

4. オンライン開催について

1. 3.項の通り、**今後も**緊急避難的手段としてオンラインによる活動が多くなると考えられますが、約1割以上の会員が、パソコンやスマホなどを常用されていない、いわゆる「非E会員」のため、オンラインによる活動が不可能な環境下にあります。これらの会員に対し情報伝達の漏れがないよう、運営委員会においても具体的仕組みを検討します。

II. 本部の活動計画

1. じゃおニュースの発行

じゃおニュースは会員相互の情報共有と対外的な広報活動に活用するよう定期発行していきます。発行日程は、毎月5日～8日、各地域じゃおからの郵送発送は10日を目標とします。本年度はじゃおクラブ30周年を迎えます。会員各位の関連投稿大歓迎です。

2. じゃおサロンの開催

2021年度も原則隔月にじゃおサロンを開催する予定です。2020年度はコロナ禍で3密を避けるために始めたオンラインじゃおサロンですが、講師の方々がオルタ館まで出向けない或いは日程の都合がつかない等の制約がなくなりお願いできる講師やテーマの範囲が広がります。又、開催

日にオルタ館まで行けないがオンラインなら参加できるとの意見もあります。これまでのオルタ館でのじゃおサロンを生かしながらオンラインのメリットを併用することで内容の充実と参加者の増員を進めます。

3. ホームページの運営（ホームページサークル）

ホームページの役割は従来と変わりません。一般の方々に対してじゃおクラブのことを伝える手段であり、会員に対する情報共有の道具です。

制作・管理・運営においては、地域ごとに、地域が、地域に合った形で行います。また、地域ごとに他団体との交流や行政が行う団体紹介の一環として、ホームページの活用を図ります。

ホームページサークルは、これまでに引き続き、自由闊達な話し合いとメンバーの自主的な活動に基づいて運営します。

4. じゃおEグループの運営

Eグループはメールアドレスを持っている会員の殆どの方が参加しています。

じゃおクラブの名簿は毎月更新されており、Eグループもいつも最新の状態になっています。

じゃおクラブ全員に向けての案内は、是非Eグループの活用をお願いいたします。

投稿アドレスは jao-club@googlegroups.com です。このアドレスに投稿することで E グループ会員に配信されます。

5. 健康サークル

じゃおサロンがオルタ館において開催される場合は、健康サークルの実施を計画します。

6. オンライン方式の導入について

コロナ禍のもとでは、止むを得ず、会議や活動においてオンライン方式を活用します。地域じゃおにおける導入にあたっては、地域ごとに、地域が、地域に合う形で活用します。オンライン方式の導入を希望する地域じゃおは、必要に応じて勉強会や接続テストを実施します。本部とすでに導入した地域じゃおは、求めがあれば技術支援を提供します。

コロナ禍収束後は、可能なものから元通りの活動に戻しますが、事務的な会議など、移動時間の節約などのメリットが得られるものはオンライン方式を活用する場合があります。

また、オンライン方式の導入に際しては、パソコンやスマホを持たない会員に配慮した進め方が必要です。このため、①重要事項は書面にて情報を届けること。②重要な決議事項は書面での投票を保証すること。③決議結果は書面あるいはその他の方法で報告すること。の3点に留意して進めます。

III. 他団体との交流

1. 生活クラブ関連行事

(1) ふくしまつり

6月6日（日）開催予定。

「手作りの子どもの遊び」工作コーナー（万華鏡・紙とんぼ・CDこま・からくり絵本・バルーンアート）に「地域じゃお」単位で参加します。

・金沢区金沢八景 姫の島公園（ベイサイド担当）

(2) エッコロ共済

①「健康講座」で「やさしいヨガ」を実技指導する講師の派遣をします。

②「子育て講座」で「手作りの子どもの遊び」製作教室で指導するため講師を派遣します。

機械的な遊びではなく、伝承してきた遊具を若い世代に伝えます。

(3) オルタ館フェスタ

11月初旬の月曜日から土曜日に開催予定

- ① じゃおの同好会としてグラファーズの写真作品と四木会の俳句作品を展示します。
- ② 期間中（土）のイベントでは「手作りの子どもの遊び」として伝統的な遊具（万華鏡・竹とんぼ・紙とんぼ・CD こま等）の製作教室を開催します。（ベイサイド担当）

2. その他の団体

2021 年度にじゃおクラブから他の団体に対して情報を発信する予定はありませんが、呼びかけがあった場合には運営委員会に対応したいと思います。

第4号議案

2020年度 予算案 (2020年4月1日～2021年3月31日)

収入の部

単位：円

科目	前年度実績	予算額	摘要
前年度繰越金	815,944	910,767	
年会費	863,500	854,000	年度初め会員数 139名分に途中入会者分として20,000円加算
総会費*1	51,000	0	
事業収入 (じゃおサロン)	191,000	90,000	5回、18名/回 講演会費無料化*2
雑収入	6	6	利息
合計	1,921,450	1,854,773	

支出の部

単位：円

科目	前年度実績	予算額	摘要
事務局費	13,924	11,000	
会議費	6,750	80,000	運営委員10名分交通費約70,000円加算*3
通信費	113,999	102,000	Wi-Fi利用料、レンタルサーバ利用料、総会返信用葉書、総会資料郵送代。じゃおニュース発送郵便代減
広報費 (会報・じゃおニュース・ホームページ)	43,957	66,000	HPサークル施設使用料、じゃおニュース発送代
総会費*1	143,200	35,000	資料印刷代
事業活動費	129,174	195,000	
じゃおサロン	129,174	195,000	
地域じゃお助成金	0	0	
地域じゃお活動費	430,500	427,000	年会費の半額
他団体交流費	0	10,000	
賃借料	128,049	130,000	消費税増分値上げ
雑費	7,130	7,000	
繰越金の地域分配金*4	0	208,500	1,500円/人、139名
予備費	0	10,000	
小計	1,016,683	1,281,500	
繰越金	904,767	573,273	
合計	1,921,450	1,854,773	

補足説明

- * 1 総会関係の収支は通常総会がオルタナティブ生活館で開催されなくなった前提で作成しました。
- * 2 じゃおサロンの講演会は従来1000円の会費を徴収していましたが、第3号議案I. 4.「本部における諸活動」に記述されている理由で、2020年度は無料にする前提で予算案を作成しました。なお、講演会の後の懇親会については、従来通り、会費1000円としています。
- * 3 従来、運営委員に対しては交通費等一切支払っていませんでしたが、2019年度にじゃお県央において、運営委員に運営委員会出席の際の交通費を支給することが決議されました。公平性の観点から、他の地域じゃおもそれに倣うべきではないかという意見が出され検討しましたが、運営委員会は本部主催なので本部会計から支払うべきではないかということになり、2020年度は各地域の拠点（湘南は藤沢駅、県央は海老名駅、ベイサイドは磯子駅、多摩・田園は町田駅）から新横浜駅迄の交通費を本部から支払うという前提で予算案を作成しました。
- * 4 2019年度の通常総会において、「本部の繰越金が多過ぎる」という意見が出されたため、運営委員会で検討した結果、地域じゃおの活動をより活性化させるためにも一部を各地域じゃおに分配することにしました。2021年度はじゃおクラブ創設30周年を迎え、記念事業を計画する必要があるのではないかという意見もあり、今回は繰越金のうち20万円程度を分配する前提で予算案を作成しました。分配方法については地域じゃお活動費同様、会員数に応じて支払うこととし、4月1日現在の会員1人当たり1500円としています。

第5号議案

じゃおクラブ会則の改定

じゃおクラブの現状の活動状況を会則に反映させるために、下記のように「じゃおクラブ会則」の改定を提案します。

現行	改定案
(地域じゃお) 第27条 4. 第6条の会員は、地域じゃおのエリア内であれば原則として当該地域じゃおの会員となる。ただし、活動については他の「地域じゃお」に自由に参加できるものとする。	(地域じゃお) 第27条 4. 第6条の会員は、地域じゃおのエリア内であれば当該地域じゃおの会員となる。また、地域じゃおのエリア外であれば近接する地域じゃおの会員となる。なお、会員が地域じゃおのエリア外に転居した場合は、元の地域じゃおに残留することができる。ただし、活動については他の「地域じゃお」に自由に参加できるものとする。
	(付則の追加) 8. 本会則の改定は、2020年5月10日より実施する。

補足説明

明確に決められていなかったじゃおのエリア外からの入会者の地域じゃおの所属先、および会員がじゃおのエリア外に転居して会員資格を継続する場合の所属先について、明確化するために会則の一部改定を提案します。(2020年1月開催の運営委員会で決議されています)

第6号議案

2021年役員選出案

会則第9条の規定により運営委員と監事の立候補者を募ったところ、次の方々而立候補されました。

運営委員立候補者（五十音順）

No	氏名	区分	No	氏名	区分
1	石井 武則（多摩・田園：町田市）	現	7	竹内 純一（多摩・田園：町田市）	現
2	今村 義宏（県央：厚木市）	現	8	永井 志成（湘南：藤沢市）	現
3	大澤 輝之（ベイ：横浜市）	現	9	福山 信二（県央：海老名市）	新
4	大出 佳和（湘南：平塚市）	現	10	村尾 篤彦（ベイ：横浜市）	元
5	小坂 津代美（湘南：茅ヶ崎市）	現	11	横山 晶（ベイ：横浜市）	新
6	高橋 孝（多摩・田園：町田市）	現			

監事立候補者（五十音順）

No	氏名	区分	No	氏名	区分
1	島村 忠男（湘南：藤沢市）	現	2	土屋 佳一（ベイ：横浜市）	新

じゃおクラブ

[事務局]

〒222-0033

横浜市港北区新横浜 2-8-4 オルタナティブ生活館

ホームページ URL

<https://jaoclub.com/>

